

フロアカーリングで 楽しく健康づくり

富良野市 フロアカー リング協会



▲協会主催で初めて開催された第1回富良野市民フロアカーリング交流会



▲3.05m×13.4mのレーンで競う



▲フロッカーのキャスターが壊れないようにするため、レーンの掃除は欠かせない

▼フロッカーとターゲットの距離を測る審判



市 内でフロアカーリングを広く普及させたいという思いから、平成27年4月に設立された富良野市フロアカーリング協会（山田明会長）。今年の2月に開催した第1回富良野市民フロアカーリング交流会をはじめ、会員同士の交流会やフロアカーリングの技術向上を目的に活動を展開しています。

フロアカーリングは、新得町で考案された室内競技で、ター

ゲットを的にキャスト付きのフロッカーを送球し、得点を競うもので、老若男女問わず楽しむことができる競技。市内では平成20年から麻町連合会を取り組むなど、各地域の老人クラブを中心にフロアカーリングが徐々に普及し、現在80人以上の会員が活動しています。

「体力をあまり使わず、1年を通してできるスポーツで、ゲームを進める上で頭を使い、送球するときに屈伸運動をしたり、道具を回収するために歩いたり、高齢者にとっては介護予防にもなり、健康の維持ができます」とフロアカーリングのメリットを話す山田会長。さらに、基本は4人1チームで行うもの

の、1対1や2対2での対戦もできることで、少人数でも気軽に楽しむことができます。

また、協会ができたことにより、人との横のつながりができ、会員同志の交流も多くなる一方で、競技する場所の確保や道具の購入が課題となっているそうです。

「各地域の子供会などで高齢者と子どもたちが一緒に楽しむ機会を作って、地域でもフロアカーリングを楽しんでほしい」と話す山田会長。みんなで楽しんで、さらに健康づくりができる屋内スポーツの一つとして、今後も富良野市フロアカーリング協会は競技を楽しむ機会を作っていきます。